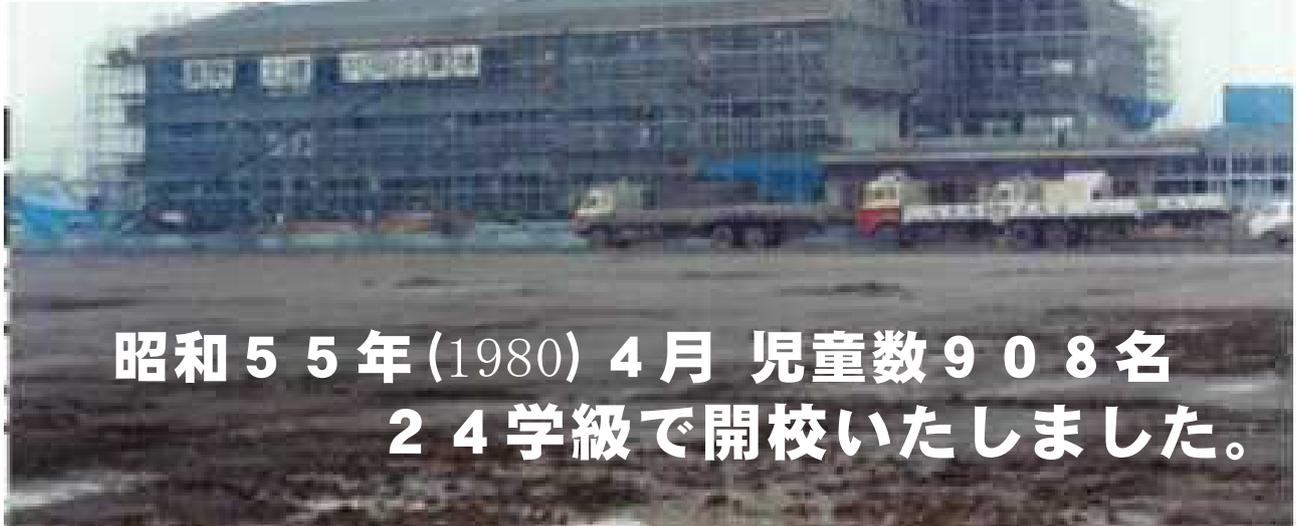




1月29日に43回目の誕生日 (開校記念日) を迎えます



昭和55年(1980)4月 児童数908名
24学級で開校いたしました。

永山南小学校ができて、今年で43年目になります。昭和54年(1979年)の12月に、「旭川市立永山南小学校」と学校名が決定しました。そして、昭和55年の3月に永山西小、正和小からの引っ越しを経て、4月に児童908名、24学級で旭川市内61番目の小学校としてスタートしたのです。この頃の学校周辺は田畑であったところに、次々と住宅が建ち、商店や工場なども進出していました。

この年5月4日には「開校記念式典」が行われ、その後も2期、3期の工事を経て、現在の校舎が完成したのは、昭和59年のことです。

学校の名前は、児童・保護者からの公募により決まりました。校名の由来としては「旭川市永山地域の南に位置する学校で、他に仰ぎみられるような人となり、永久に続く不動の校風を築くよう、毎日の学業に努めたい」という期待を込めてこの校名としたそうです。

また、校章のデザインは、旭川市立緑が丘中学校の 鈴木 俊昭 教諭(当時)によるもので、その意味は、以下の通りです。

中央の円は、永山南小学校の調和のとれた教育と児童の発達を意味し、「永」を図案化した周囲のふちどりは、北国の大地をおおう積雪とその自然の厳しさを表している。

また、三本のペンで三つの教育目標(思：情意 遂：意志 考：知力)の調和ある発達を表し、ペンを周囲のふちどりよりも突出させた配置で、全体として厳しい自然にもめげず知、情、意を伸ばしていく、永山南小学校の児童のたくましさを表している。



旭川市立永山南小学校